

第66回益城町消防団出初式



1

冷え込みが一段と強くなった1月19日、木山中サブグラウンドで、毎年恒例の第66回益城町消防団出初式が開催されました。寒さに負けない威風堂々とした分列行進で始まった出初式。総指揮者である福永晋作副団長の号令に従い、この日集まった326人の団員は、きびきびとした動作を見せました。

開会式では、西村町長が、「団員としての使命を認識し、日頃の訓練に励んでほしい」と式辞を述べ、北野幸輝団長が、「高い意識を持って予防消防に取り組んでほしい」と訓示しました。また、第5分団第1班の永田

祐樹班長が選手宣誓を行いました。

開会式終了後、幼年消防クラブによるアトラクションとして、第1保育所の通常点検と防火の誓い、第3保育所の和太鼓演奏、益城第2幼稚園のバルーン演技が行われました。

今年の出初式では、熊本地震後中断していた通常点検が復活。5つの分団がそれぞれ、日頃の訓練の成果を発揮し、見事な通常点検を行いました。中でも、団員数が多い第1分団(飯野)、第5分団(津森)の通常点検は圧巻。どちらも約80人の団員が整列し、きれいにそろった動作で

点検を終えました。

分団対抗の標的倒し競技も行われ、積載車から3本のホースをつなぎ、実際に水を出し、火元に見立てた標的を倒すまでの時間を競いました。各分団とも素早い動きでホースをつなぎ、見事標的を倒していました。

【標的倒し成績】

◎優勝 第4分団(福田)

タイム1分02秒

◎準優勝 第5分団(津森)

タイム1分42秒

閉会式では、標的倒し競技の表彰が行われ、団員たちが素晴らしい活躍を見せてくれた出初式は、幕を閉じました。

